

令和2年度 門真市立総合体育館指定管理者総合評価

【評価対象年度】：令和元年度

施設のサービス水準の視点 コメント

オープン後3年目の令和元年度は、平成30年度に引き続き、市民ニーズに合うよう自主事業の入れ替えを積極的に行うなど、昨年度より多くの施設において利用率が向上したことを評価した。
加えて、総合型地域スポーツクラブの賛助会員に加盟することで同クラブの支援・育成に努めるとともに、令和元年度、市が主催で実施してきた運動・スポーツ習慣化促進事業を令和2年度から連携して実施するなど、連携体制を強化していることを評価した。
一部の施設（部屋）については、引き続き稼働状況に余裕がある状態となっていることから活用に向けた取り組みが必要と考える。

収支状況 コメント

収入については、新型コロナウイルス感染症対策に伴う休館の影響により、年間利用者数目標・利用料金予算額が未達成となったが、令和2年2月までの数字は前年度を上回っていることを評価した。
収入が支出を大きく上回っていることから、令和2年度は、施設の利用環境をより一層充実させるため、施設整備等に積極的に投資することで市民に還元されたい。

市による総合評価 コメント

アンケート調査の結果から、昨年に引き続き、総合体育館に対する施設利用者満足度は、高い評価を得ており、概ね期待している施設運営がされていると判断する。
今後は、総合型地域スポーツクラブの仕組みを活用した具体的な事業展開が可能となるよう、総合型地域スポーツクラブをはじめとした、スポーツ団体と連携した自主事業を積極的に展開するとともに、稼働状況に余裕のある施設の活用を期待している。
収入が支出を大きく上回っており、市民への還元として、より積極的な施設整備等が必要と判断し、総合評価を「B」とした。

総合評価

B

総合評価区分凡例

- A：協定事項等を上回る水準で施設運営がされ、大変良好なサービスが提供されている
- B：概ね協定事項等の水準どおり施設運営がされている
- C：協定事項等の水準以下であった